

令和4年度大阪府立吹田東高等学校  
 第2回学校運営協議会  
 日 時：令和4年12月12日（月）  
 場 所：大阪府立吹田東高等学校 会議室

・委員	古本 隆	吹田市立千里丘中学校 校長
	城下 英行	関西大学社会安全学部准教授
	和田 大志郎	吹田東高等学校 PTA会長
	佐伯 勇	甲南女子大学教授
校長	東 知佐子	吹田東高等学校 校長
事務局	出口 学	吹田東高等学校 教頭
	村上 明弘	吹田東高等学校 首席
	山室 裕	吹田東高等学校 首席

## ◆学校長挨拶

## ◆議 事

### 【報告事項】

(1) 生徒による授業アンケート結果について（東校長）【資料①1－4参照】

○実施時期、方法の説明

- ・第1回は令和4年7月20日実施、マークシート方式。
- ・自身の数値やフリーアンサーの回答は各教員に返している。

○結果分析の説明

<学校分析>

- ・令和元年度に大きく向上し、令和2年度はさらに向上した。令和3・4年度も若干向上し、1人1台端末の導入等のICT活用や観点別評価の導入等が結果に繋がっているように見受けられる。
- ・令和4年度も全体平均3.3以上、興味・関心、知識・技能の平均3.2以上と高い目標を掲げたが、達成することができた。
- ・教材作成・活用方法については各教員とも研究・工夫している。また、今年度は「生徒意識2」について評価が上がっているが、観点別評価となったことで、生徒側が知識・技能を意識するようになったとも考えられる。
- ・「生徒の取組1・2」の生徒の自己評価は高く、より「取組1」の評価が高くなっている。
- ・過去5年間「授業分析」が最も低い項目であったが、今回はあがっているが、1人1台端末等の活用により生徒の理解度を確認しながら進める授業が増えたことに起因すると思われる。

<教科>

- ・今まで実技科目に比べ、座学科目は高評価を得にくい傾向にあったが、今回は差が小さくなっている。

Q 委員 アンケート項目を新たなものに追加や変更することはないのか。

A 項目については基本的に府教委より示されている。また、変えると比較しにくくなるのではと思う。アンケート項目を変える時のアドバイス等あれば教えて頂きたい。

委員 継続性を持たせることは比較する上で大事だと思う。特に新たな項目があれば追加したらいいと思う。

Q 委員 教材活用や授業分析の評価が上がっているが、教員の取組が反映されていると思う。

A 数学の評価が上がっているが、クロムブックの有効的な活用がなされていると思われる。

Q 委員 数学でのICT活用はどのようにされているのか。

A 小テストをグーグルフォームを使って回答させ、集約することにより各問題の正解率を見る。  
答案を書くということも大事なので併用しながら活用できたらと思う。

(2) 令和4年度学校経営計画の進捗状況について（東校長）【資料②参照】

○本年度の取組内容及び自己評価について

・各中期的目標における自己評価の進捗状況（資料②）の説明

委員 部活動が働き方改革の面で大きく影響している。また、中学の部活動地域移行については受け皿の問題等ですぐにはできていない。来年度からクラブチームの大会参加認められる。

A 高校では部活動の大阪モデルを作ることが示されているが、まだ具体化されていない。

(3) 生徒1人1台端末の導入と取り組み状況について（東校長）【資料③1-2参照】

○月刊高校教育 2022年11月号「実践！高校現場のICT活用」に掲載された1人1台端末導入の本校の取組の紹介

○リーディングGIGAハイスクール実施要項について

・アドバンスクラスに選ばれた。

・指定期間は令和5年4月から3年間

### 【協議事項】

(1) スクールミッション・スクールポリシーについて（東校長）【資料④1-2参照】

○スクール・ミッション案について

・今回の学校運営協議会承認してもらい提出する。

Q 委員 スクールミッションで「自主自立の精神を培い、違いを認め合い他者を思いやる豊かな人間性と確かな能力を身につけ」の部分は生徒が主語になっているので、学校が主語になるように変えた方がいいのでは。

A 学校が主語になるように表現を変える。

### ◆諸連絡

次回（第3回）の日程を1月下旬から2月上旬で調整する。